

平成 30 年度 事務事業評価シート (評価対象 平成 29 年度実施事業)

事業名	公共施設マネジメント事業			事務事業コード	2131-1
担当	企画部	企画課	公共施設適正化推進係	事業開始年度	平成 24 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠			
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	2.地域の特徴を生かしたつながりあるまちづくり
	節	1.地域の特徴を生かしたまちづくり
	施策	3.公共施設
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 佐久市が保有する公共施設を有効に活用し、効果的かつ効率的な施設運営を行うことにより、将来に亘って持続可能な行財政経営を行う。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ○公共施設マネジメントとは 佐久市の人口動態や財政状況、市民ニーズ等を踏まえ、公共施設の利用状況や老朽度を把握し、維持管理、更新及び新設等のあり方について、全体として最適化の観点から効果的かつ効率的に管理、運営する仕組みのこと ○取組経緯 ・H25年度 「佐久市公共施設白書(公共施設の現状を把握するためのもの)」作成 「佐久市公共施設マネジメント基本方針(公共施設マネジメントに関する基本的な考え方を示したもの)」策定 市職員向け研修会開催(職員が問題意識を共有するため) 行政改革推進委員会への説明実施(委員会へ佐久市の現在の取組みを把握してもらうため) ・H27年度 「佐久市公共施設白書～公営企業施設編～(下水道、浅間総合病院関連施設の現状を把握するためのもの)」作成 ・H28年度 「佐久市公共施設最適化推進方針(施設種別ごとの将来目標を設定するためのもの)」策定 「個別施設計画(個別の施設を対象とした計画)」の作成要領等の検討 「佐久市公共施設等総合管理計画(白書、方針等を統合し、加筆したもの)」策定 ・H29年度 市職員向け研修会開催(各所管課で策定を予定している個別施設計画の理解を深めるため)	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
コスト	事業費	7,384		40,564		1,042	
	人件費	0.90 人	5,913	0.70 人	4,690	1.10 人	7,370
	非常勤職員等	163 時間	158	306 時間	309	278 時間	281
	人件費合計	6,071		4,999		7,651	
	総事業費	13,455		45,563		8,693	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	13,455		45,563		8,693	
	財源合計	13,455		45,563		8,693	

平成 29 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設マネジメントの現状と「個別施設計画」の策定について、職員の理解を深めるとともに意識の共有を図るため、「公共施設マネジメント職員研修会」を2回開催(出席者計56名)した。 ・「個別施設計画」の策定に向け、各施設所管課との調整を行った。 ・「個別施設計画」の策定に係るマニュアル・ガイドライン等の情報収集を行った。
------------------	--

活動指標	単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
公共施設マネジメントに係る職員研修	回	実績	2	2	
		目標	2	2	2
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
公共施設マネジメントに係る計画策定の進捗率	%	実績	50	60	
		目標	50	60	70
	%	達成率	100	100	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	「公共施設マネジメント職員研修会」を開催し、今後の「個別施設計画」策定の進め方や、「公共施設等総合管理計画」に掲げる目標を踏まえた施設の更新を行っていきことで、より効果的で効率的な施設の管理運営とサービスの向上が図られるよう、職員の意識の共有を図った。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	市が保有する公共施設の今後の取組についての事業のため、市が実施すべきものである。限られた財源の中で、市が保有する公共施設を有効に活用し、効果的、効率的な施設運営に努めていくことは、持続可能な行財政運営を行うための市の責務である。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各種計画の策定等をどのように進めていくか検討している段階であり、事業の見直しではなく、より成果を高めるための工夫が必要となる。 ・市と市民が課題を共有し、互いに協力して取り組んでいくことが重要となる。今後、具体的な検討を進めていくに当たり、関係機関や地域で活動している市民等、多くの関係者に参画してもらう場を設け、意見を取り込んでいくことが重要となる。 ・平成32年度までに、施設所管課が作成する「個別施設計画」については、平成28年度に策定した「佐久市公共施設等総合管理計画」との整合に留意しながら策定する必要がある。 ・複合化等による事業実施にあたり、「公共施設等適正管理推進事業債」等の財源を積極的に活用していく必要がある。 	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	拡充	期間・時期	平成	年度	～	平成	年度
今後の取組方針	<p><課題に対する解決策、取組み方針等を記載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の最適化に向けた事業の進捗などにより「最適化推進方針」を5年ごとに見直しを行う。 ・各施設所管課が作成する「個別施設計画」について、平成32年度までにすべての種類の計画が策定となるよう、調整を行っていく。 ・本事業に関する取組において、市民との合意形成を図られるような調整を行っていく。 ・固定資産台帳の作成や本事業への活用方法等について、財政課(管財係)と連携し進めていく。 						

平成 30 年度 事務事業評価シート (評価対象 平成 29 年度実施事業)

事業名	市営施設営繕受託事業			事務事業コード	2131-2
担当	建設 部	建築住宅 課	建築 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(定型)	法定根拠			
管理方法	簡易				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	2.地域の特徴を生かしたつながりあるまちづくり
	節	1.地域の特徴を生かしたまちづくり
	施策	3.公共施設
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 公共施設が適正に整備され、市民は快適な暮らしにつながる公共施設サービスを利用している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 市長部局の施設所管課が営繕工事を行う際に委託を受け、技術的サポートを行う。 ・小規模改修工事等に係る設計積算 ・大規模工事等において、民間へ設計・監理を委託する場合の委託料算出及び副監督業務 ・工事発注に係る経費算出及び工事の副監督業務 など	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		
コスト	事業費	0		0		0		
	人件費	常勤職員	2.42 人	15,900	2.40 人	16,080	1.70 人	11,390
		非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
		人件費合計	15,900		16,080		11,390	
総事業費		15,900		16,080		11,390		
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0		
	一般財源	15,900		16,080		11,390		
	財源合計	15,900		16,080		11,390		